

## 全日本事務局だより

「令和八年度 文部科学省概算要求」の内容が明かに

▼八月二十九日、文部科学省は令和八年度概算要求の内容を発表した。

文教関係予算として四兆五、〇八三億円。本年度と比較して新規事業分も併せて、二、八〇一億円増の概算要求となつた。

▼中学校教育に絞った予算要望のポイントとしては、大きく五点に絞られる。

- 一、学校の働き方改革の更なる加速化、教師の待遇改善等の一体的な推進と学校DXの加速
  - 二、GIGAスクール構想の更なる推進と学校DXの加速
  - 三、新しい時代に求められる資質・能力の育成
  - 四、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校、いじめ対応策等の推進
  - 五、生涯を通じた障害者の学びの推進
- ▼一、学校の働き方改革の更なる加速化、教師の待遇改善等の一体的な推進
- この項目の主な内容は、  
○中学校三十五人学級の実現（五千八百人増）  
○教師の待遇改善として、教職調整額の改善（五%→六%）や主務教諭の創設（月額六千円程度）  
○教師の負担軽減のための教員業務支援員（三万九百人）、副校長・教頭マネジメント支援員（一千六百）、学習指導員等の配置を支援（九千二百人）
- この項目の主な内容は、  
○教育課程の充実を図るために「道徳教育アーカイブ」の充実をはじめとした、道徳教育の質的向上に向けた取組の推進、道徳科の教科書の無償給与（小中学校分）を実施

## ▼四、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校、いじめ対応策等の推進

### この項目の主な内容は、

- 専門家を活用した教育相談体制の整備・関係機関との連携強化等を進め

るため、不登校児童生徒の学び場の確保、スクールカウンセラー（全公

立小中学校 一万一千八百校（週八時間）・スクールソーシャルワーカー（全中学校区 一万一千五百校

週六、時間）の配置充実

○医療及び学校現場の連携による自殺

## ▼五、生涯を通じた障害者の学びの推進

### この項目の主な内容は、

- 医療的ケアが必要な児童生徒等への支援として、看護職員の配置拡充（五、三〇〇人）

○発達障害のある児童生徒等への支援として、就学前からの切れ目のない

支援体制の構築  
○指導体制等の充実として、外部専門家の配置拡充

▼令和七年六月十一日に自由民主党・

公明党・日本維新的会、三党によるいわゆる高校無償化については、「高等

## 対策強化事業【新規】

### ○いじめ対応伴走支援チーム（仮称）のモデル構築推進事業

○校内教育支援センターの設置促進・機能強化事業として、校内教育支援センター支援員の配置（五千校）

○学びの多様化学校の設置促進

○夜間中学の設置促進・充実

## ▼六、生涯を通じた障害者の学びの実現

「学校教育改革の実現」の項目の中でも予算要望事項として、掲げられている。

▼しかし、現時点（九月下旬）では、無償化のための約四千億円といわれる財源が示されておらず、今回の予算要望の中では、「事項要求」として具体的な金額が示されなかつた。

▼また、無償化に向けた制度設計も進んでいない。例えば、無償化の対象として留学している外国人生徒の扱いや

通信制高校の扱いはどうなるのかなど、課題は山積している。

▼一方、私立校の人気上昇と併せて公立校の定員割れという課題も指摘されている。国における今後の議論が待たれる。

▼令和八年度概算要求の詳細な内容は、全日中HP（会員ページ）にアップされているので、是非、参照願いたい。